



工業用画像解析ソフトウェア

OLYMPUS Stream

Version 2.5.2

リリースノート

OLYMPUS Stream 2.5.2

2022年6月

OLYMPUS Stream V2.5.2 リリースノート

リリースノート	項目	内容	種類
R-3389	Stream 2.5.2 は、Microsoft Server 2022 に対応	Stream ファイルレポジトリ 2.5.2 は、Windows Server 2022 に対応しています。 Stream SFR 2.5.2 をインストールし、フローティング ライセンス サーバーとの互換性を取るためには、Windows Server 2022 (64 bit)が必要となります。	更新
Stream Enterprise / Stream セキュア ファイル レポジトリ			
R-3388	Stream 2.5.2 は、SQL Server 2019 Express および Standard エディションに対応	Stream 2.5.2 は、SQL Server バージョン 2019 に対応しています。 データベースのインストールにおいては、SQL Server 2019 Express と Standard の両バージョンに対応しています。 Workgroup と Enterprise のデータベースが対応しています。 SQL Server Express 2019 は、全ての Stream パッケージ(Basic、Essentials、Motion)に、初期設定でインストールされます。	更新
データベース搭載の Stream パッケージ (Basic、Essentials、Motion、Desktop、Enterprise)			

リリース ノート	項目	内容	種類
R-3399	Photometrics 社製 および Qimaging 社製カメラの対応終了	Stream 2.5.2 は、下記のカメラに対応していません。 Qimaging 社製: MicroPublisher RTV 3.3 MicroPublisher RTV 5 Photometrics 社製: Retiga SRV Retiga 2000 RV Retiga 4000 RV Retiga 2000 R Retiga 4000 R Retiga EXi これらのカメラは、デバイスリストでもセットアップ中でも選択 できません。	変更
画像取り込み機能搭載の Stream パッケージ全て			
R-3398	アナログ信号からデジタル信号へ変 換するコンバーターの対応終了	下記のデバイスは、デバイスリストで使用できなくなりました。 Imaging Source 社製: - DFG 1394-1e - DFG USB2/It	変更
画像取り込み機能搭載の Stream パッケージ全て			
R-3394	Stream 2.5.2 は、XM10 および XM10IR の後継機である新機種カ メラ DP23M に対応	Stream 2.5.2 は、モノクロカメラ DP23M に対応できる ようになりました。 最大解像度: 3088 x 2076 ピクセル (6.41 メガピク セル) ピクセルサイズ: 2.4 x 2.4 μm インターフェース: USB 3.1 (USB-C コネクター) アスペクト比: (1/1.8 インチ)	機能
画像取り込み機能搭載の Stream パッケージ全て			

リリース ノート	項目	内容	種類
R-3387	Stream 2.5.2 は、LC30 の後継機である新機種カメラ LC35 に対応	Stream 2.5.2 は、LC30 の後継機である新機種カメラ LC35 に対応できるようになりました。 フル解像度: 19 fps @ 2160 x 1620 フル IHD: 1920 x 1080 高速モード: 30 fps @ 1296 x 972 ピクセルサイズ: 2.2 x 2.2 μm	機能
画像取り込み機能搭載の Stream パッケージ全て			
R-3401	描画ツールで、[SHIFT]キーが使用出来ない不具合を修正	Stream 2.5.2 では、Stream 2.5 で報告されていた不具合を修正しました。 描画ツールの"楕円"機能で、[SHIFT]キーを使用して真円を描画できるようになりました。 また、"線" あるいは "矢印" 機能で、[SHIFT]キーを押して正確な平行線や垂直線を描画できるようになりました。	不具合修正
Stream パッケージ全て			
R-3391	ディープラーニングソリューション: インスタンス セグメンテーション	インスタンス セグメンテーション手法を使って、ニューラル ネットワークをトレーニングできるようになりました。 インスタンス セグメンテーションは、既存のセマンティック セグメンテーションに追加されています。 インスタンス セグメンテーションでは、オブジェクト セグメンテーション マスクと共に表示されている複数のカテゴリのインスタンスごとに、バウンディング ボックスが生成されます。同じクラスの複数のオブジェクトを個別のインスタンスとして扱います。 ニューラル ネットワーク トレーニング メニュー(ディープラーニング レイアウト)内のチェックボックスにチェックを付けると、インスタンス セグメンテーションがアクティブになります。	機能
ディープラーニングソリューション			

リリース ノート	項目	内容	種類
R-3402	DSX 画像がマテリアルソリューションに読み込まれない不具合を修正	Stream 2.5.2 では、一部の画像フォーマットがマテリアル ソリューション ワークフローに読み込まれない不具合を修正しました。 - DSX 画像 - LEXT 画像	不具合修正
マテリアルソリューション全て			
R-3392	マテリアルソリューション: ワークフロー内でセグメンテーションの選択が可能	下記のマテリアルソリューションでは、ワークフロー内で閾値選定法を選択できるようになりました。 - 気孔率 - 粒度分布 - フェーズ解析 このオプションは、以前は "オプション" メニューで使用していました。 Stream 2.5.2 では、セグメンテーションモード (閾値 I/R/G/B 又は 閾値 HSV) および 各モードごとのコンポーネントを選択することができるようになりました。 モノクロ画像の場合、この選択はできません。	変更
マテリアルソリューション: 気孔率、粒度分布、フェーズ解析			
R-3400	Microsoft Office 2010 の対応終了	Microsoft Office 2010 は、Stream 2.5.2 と組み合わせることはできません。	変更
レポート機能搭載の Stream パッケージ全て			